

阿蘇市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）点検評価結果

「第2次阿蘇市地球温暖化対策実行計画（H26～H30）」に基づき、平成26年度に実施した本市の事務事業において使用された電気、燃料などの量を調査し、これに伴う温室効果ガス排出量の点検・評価を行ったので公表します。

計画では、二酸化炭素排出量について平成30年度に基準年である平成25年度から5%の削減を目標としておりますが、平成26年度の温室効果ガス排出量は、施設の新築をはじめとする特殊要因により、基準年と比較して **575.19 t-CO₂ (+10.4%)** 増の **6081.66t-CO₂** となり大幅な増加のとなりました。

排出要因別の排出量では、電気（78%）と灯油（11%）の2項目で全体の約90%を占める状況にあり、ガソリン、軽油の2項目については大幅に削減できたものの、その他の項目では増加しています。なかでも電気については大幅な増加となりました。

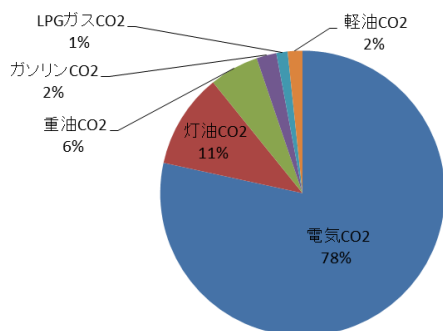
排出施設別では、病院や水道の公営企業での増加が顕著であり、要因は、新病院開業による機械電気機器の増加や高度医療機器の導入、浄水場の新設などが考えられます。

仮に平成26年度において施設の新築や規模拡大等がなく純粋な事務事業のみを比較した場合の温室効果ガス排出量は **2703.09 t-CO₂ (▲2.4%)** であり、大幅に削減できたことが伺えます。今後は、平成30年度の目標を達成すべく、更なる省エネ、地球温暖化対策に対する意識啓発に努め、積極的な省エネ設備の導入を図る等の新たな取組が必要と考えます。

（単位：t-CO₂）

排出要因	平成25年度 (基準年)	平成26年度	増減	増減率(%)	目標年度 (平成30年度) -5%	目標値比較
電気	4227.37	4769.18	541.81	12.8	4016.00	118.75%
灯油	648.70	653.97	5.28	0.8	616.26	106.12%
重油	286.30	340.43	54,131	18.9	271.98	125.17%
ガソリン	147.78	138.82	▲9.46	▲6.4	140.39	98.53%
軽油	125.48	102.05	▲23.44	▲18.7	119.21	85.60%
LPGガス	70.85	77.71	6.87	9.7	67.30	115.46%
計	5506.47	6081.66	575.19	10.4	5231.15	116.26%

要因別CO₂排出割合(H26)



施設別CO₂排出割合(H26)

